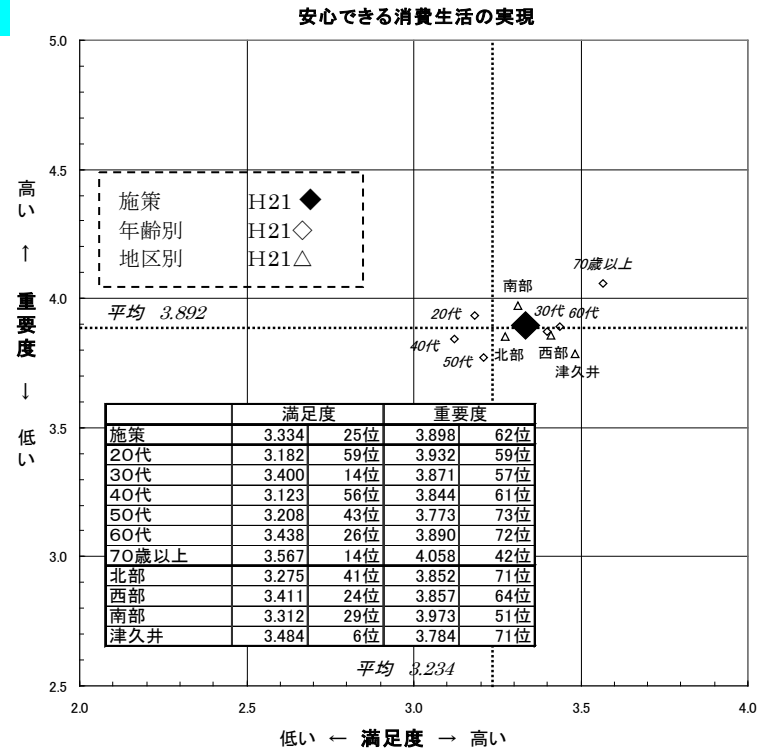




### 5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.334で全119施策の中で25番目。
- 重要度は3.898で62番目である。
- 改善要望度は-0.066で77番目である。



### 6 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	④ 2 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	④ 2 1	4 2 ①	
合計		12	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)	
				1次評価
				A

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	消費生活センターの認知度が59.8%で昨年度より認知度は上がったが、大学生に認知度が低い。より多くの方に消費生活センターを知ってもらうとともに、将来にわたり、市民が安全で安心できる消費生活を確保する必要がある。
解決策	講師派遣や啓発事業で消費生活センターを更に周知していきたい。また、消費者被害の未然防止及び被害拡大並びに消費者の自立支援などを定める(仮称)消費生活条例の制定を検討する。

### 8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

		2次評価
		A

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

		3次評価
		A

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向